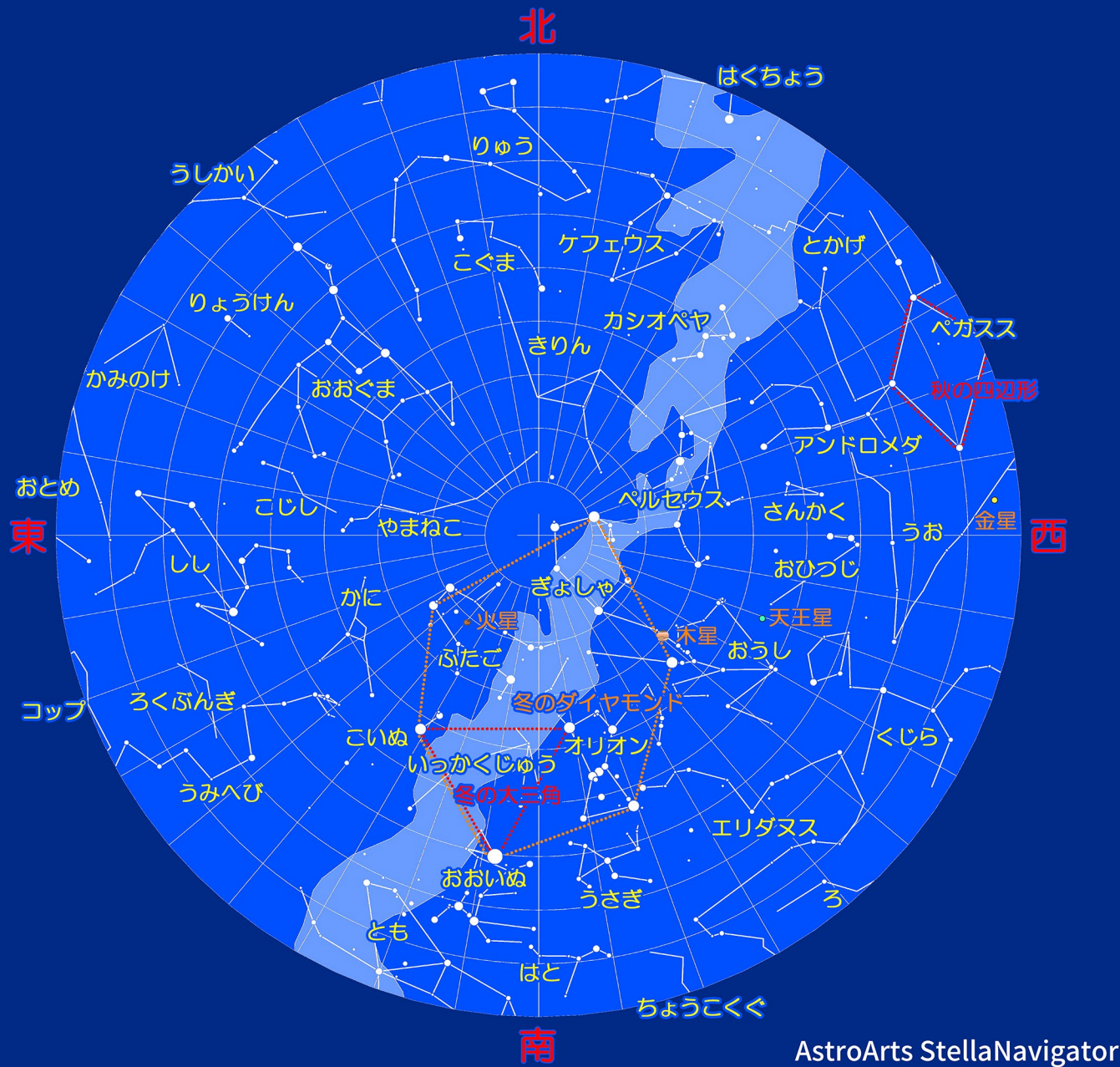




# 銀河の森天文台 2025年2月みどころ天体情報

## 2月の星空(15日 20:00頃)



## M42(電離水素領域)



オリオン大星雲と呼ばれ冬を代表する天体のひとつです。狩人オリオンのベルトを描く三つ星の下方、縦に並ぶ小三つ星の中央にあります。15cm大型双眼鏡では星雲全体を観察でき、115cm反射望遠鏡では星雲の複雑な模様を観察することができます。中心部には、生まれたばかりの4つの星（トラペジウム）が四角く並んでおり、大気が安定し星の見え方がよい（シーイングがよい）時には、さらにもう2つの星を見ることができます。

距離：約1400光年

## 月

|     | 出        | 没     |
|-----|----------|-------|
| 5日  | 上弦 09:41 | --:-- |
| 12日 | 満月 16:19 | 06:32 |
| 21日 | 下弦 00:58 | 09:44 |
| 28日 | 新月 06:12 | 17:29 |

天文台から月を見ることができるのは1～14日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。  
距離：約38万km

## M79(球状星団)

うさぎ座の方角にある、球状に密集した恒星の集団です。あまり高く昇らないため、にじんで見えることが多いですが条件がよいと周囲の星が分離して見えます。冬に見ることができる球状星団は数少なく、そのうち唯一メシエ(M)ナンバーがついている球状星団です。

距離：約4万3000光年

## イベント・天文現象

### 2月

～9(日) 火星・木星と冬の天体観望会  
浦島久 写真展  
1(土) 土星食  
3(月) 立春  
5(水) 月面X  
6(木) 月とプレアデス星団が大接近  
8(土) 水星が外合  
10(月) 火星食  
15(土) 金星が最大光度  
18(火) 雨水

### 3月

1(土) 月と水星が大接近  
5(水) 啓蟄、月とプレアデス星団が大接近  
7(金)～23(日) 2024年度 銀河の森天文台写真展  
8(土) 水星が東方最大離角  
13(木) 土星が合  
20(木) 春分、海王星が合  
21(金) 金星が内合  
24(月) 土星の環の消失、水星が内合

## 開館情報

### 2月

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    |    |    |    |    | 1  |
| 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  |
| 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |    |

### 3月

| 日        | 月        | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----------|----------|----|----|----|----|----|
|          |          |    |    |    |    | 1  |
| 2        | 3        | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  |
| 9        | 10       | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 16       | 17       | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 23<br>30 | 24<br>31 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |

### 開館時間

14:00～22:30  
(4月～9月)  
13:00～21:30  
(10月～3月)

休館日

## 火星・木星

木星が明るく輝き、1月12日に地球へ小接近した火星も赤く輝いています。木星の特徴的な縞模様や大赤斑と呼ばれる巨大な渦、そして、火星の地表の模様や極付近にある白い極冠などを、観察して探してみましょう。

太陽からの距離  
火星：約2億3000万km  
木星：約7億8000万km

## その他おすすめ

M1（超新星残骸）  
M37（散開星団）  
M41（散開星団）  
M82（銀河）  
NGC1514(惑星状星雲)  
NGC2392(惑星状星雲)  
シリウス(恒星)  
かに座ι<sup>イオタ</sup>星（重星）